



令和8年10月23日
MRFG-PM-MF-007-02

一般開示用 資料②
各種サービスご利用者 各位

任意団体 星浜フィナンシャルグループ
最高統括責任者
kaakunn1005/かあくん

セキュリティに関する重大な脆弱性への対応及び各種サービスの提供再開について(第二報)

平素より、任意団体星浜フィナンシャルグループ(以下「弊団体」といいます。)及び弊団体傘下団体等が提供する各種サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

弊団体では、令和8年(2026年)10月21日付「セキュリティに関する重大な脆弱性に伴う各種サービスの一時停止について(速報・第一報)」(MRFG-PM-MF-007-01)※1にてお知らせいたしました通り、PHPに関する重大なセキュリティ上の脆弱性への予防的な対応として、同日23時00分より、公式Webサイト及び共通利用者ID「MRFG-ID」等を含む各種サービスの提供を一時的に停止しておりました。

その後、サーバー関連サービスの提供事業者による修正パッチの適用状況を確認するとともに、弊団体が運用する各種システムの更新、セキュリティ対策の強化及び動作確認を実施いたしました。

これらの対応により、令和8年(2026年)10月22日22時40分をもって、一連のセキュリティチェックが完了したことから、翌23日0時00分に、停止対象としていた全サービスの提供を正式に再開いたしました。

本件に関する事象の概要、対応の経緯、実施した安全対策及びサービス再開後のご案内について、以下のとおりお知らせいたします。

なお、サービス停止前に開始した通知メールの一斉配信について、一部の利用者の皆様への配信が停止前に完了しておらず、サービス再開後に遅れて送信される場合がございます。

当該事項につきましても、併せてご案内申し上げます。

記



1. 今回の事象の概要及びサービス停止の判断について

令和8年(2026年)10月21日、Webサイト及び各種システムの構築・運用に広く使用されるプログラミング言語「PHP」について、重大なセキュリティ上の脆弱性に関する詳細情報及び修正版が公開されました。

当該脆弱性は、利用環境や設定等の条件によっては、第三者による意図しないプログラムの実行など、重大なセキュリティ上の問題につながるおそれがあるものです。

また、当該脆弱性はPHPの実行環境そのものに関係することから、Webサイトやアプリケーション単体の対策のみでは、十分な安全性を確保できない可能性がございました。

弊団体では、公式Webサイト等の運用にPHPを使用していることに加え、共通利用者ID「MRFG-ID」をはじめとする関連サービスにおいて、利用者情報を取り扱っていることから、万が一の被害発生を防止するため、修正版の公開前にサービスの一時停止を決定いたしました。

この判断に基づき、同日23時00分より、公式Webサイト、共通利用者IDシステム「MRFG-ID」、総合ネットワーク監視基盤システム「HiNOS Nexus-Sentinel System」及びその他の関連サービスの提供を一時停止いたしました。

なお、今回のサービス停止は、弊団体において情報漏洩又は不正アクセスの発生を確認したことによるものではなく、利用者情報及び関連システムの安全性を確保するための予防的措置として実施したものです。

現時点において、今回の脆弱性に起因する弊団体管理下の情報資産への不正アクセス及び情報漏洩は確認されておりません。



2. 本件に関する対応の経緯について

今回の脆弱性に関する情報公開から各種サービスの正式な提供再開に至るまでの主な経緯は、以下のとおりです。

なお、弊団体のサーバー関連サービスの提供事業者であるエックスサーバー株式会社による対応については、同社が公表した情報※2に基づいております。

日時(日本標準時)	対応主体	主な対応内容
2026年10月21日 12:00 迄	エックスサーバー株式会社	脆弱性の詳細公表に先立ち、同社及び利用者向け環境に対して予防的なリスク緩和措置を実施。
2026年10月21日 16:00	エックスサーバー株式会社	予防的な安全対策として、各種サービスサイト及び管理画面等へのアクセスを一時停止。
<u>2026年10月21日</u> <u>23:00</u>	弊団体	<u>公式Webサイト、MRFG-ID及びHiNOS等、対象となる全サービスの提供を一時停止。</u>
2026年10月21日 23:00 頃	PHP 開発元	脆弱性に関する詳細情報及び修正版を公開。
2026年10月22日 1:10	エックスサーバー株式会社	PHP 8.2～8.5への修正適用を開始。旧バージョン向けの修正パッチの準備にも着手。
2026年10月22日 6:45	エックスサーバー株式会社	PHP 8.2～8.5について、対象サーバーへの修正パッチ適用が完了。
2026年10月22日 09:30 以降	エックスサーバー株式会社	アカウント管理画面及び関連機能等の提供を順次再開。
2026年10月22日 12:00	エックスサーバー株式会社	PHP 7.4～8.1について、対象サーバーへの修正パッチ適用が完了。
2026年10月22日 14:00	エックスサーバー株式会社	PHP 5.6～7.3について、対象サーバーへの修正パッチ適用が完了。
2026年10月22日 21:45 以降	弊団体	PHP及びNode.jsの更新、関連システムのセキュリティ対策、Webサイトへのアクセス保護の強化等を実施。
2026年10月22日 22:15 以降	弊団体	公式Webサイト及びMRFG-ID等の関連サービスについて、復旧作業並びに動作確認を順次実施。
<u>2026年10月22日</u> <u>22:40</u>	弊団体	<u>一連のセキュリティチェック及び関連システムの安全性確認を完了。</u>
<u>2026年10月23日</u> <u>0:00</u>	弊団体	<u>停止していた全サービスの提供を正式に再開。</u>

弊団体による各種サービスの停止は、修正版の公開に伴うリスクを考慮し、利用者情報の保護を最優先として自主的に実施したものです。

復旧に際しては、サーバー関連サービス提供事業者による修正パッチの適用状況を確認するとともに、関連ソフトウェアの更新及びアクセス制御の強化等を並行して進めました。

また、令和8年(2026年)10月22日22時40分に安全性確認を完了した後も、復旧準備及び最終的な確認を行ったうえで、翌23日0時00分をもって正式なサービス再開といたしました。

3. サーバー関連サービス提供事業者による対応について

弊団体のサーバー関連サービスの提供事業者であるエックスサーバー株式会社においても、今回の脆弱性への対応として、予防的な安全対策及び修正パッチの適用が実施されました。

同社の令和8年(2026年)10月22日付公式発表より、同日14時00分までにPHP 5.6から8.5までの各系列について、対象となるすべてのサーバーへの修正パッチの適用が完了しております。

なお、同社による各種管理画面等の一時停止は、予防的な安全対策として実施されたものであり、弊団体による各種サービスの一時停止についても、同社の対応とは別に、弊団体独自の判断に基づき実施したものです。

弊団体では、同社の対応状況を確認したうえで、関連システムの更新及び安全性確認を進めてまいりました。

4. 弊団体が実施したセキュリティ対策について

弊団体では、今回の脆弱性への対応及び今後の安全性向上を目的として、以下の対策を実施いたしました。

(1) PHP実行環境の更新

公式Webサイト「<https://mrfg.net>」において使用するPHPについて、従来のVer.8.1.34からVer.8.3.36への更新を実施いたしました。

今回の更新では、脆弱性に対する修正が適用された実行環境へ移行するとともに、公式サポートが終了した旧バージョンの使用を取りやめております。

(2) Node.js実行環境の更新

総合ネットワーク監視基盤システム「HiNOS Nexus-Sentinel System」(以下「HiNOS」といいます。)において使用するNode.jsについて、Ver.22.12.0からセキュリティ修正版であるVer.22.23.4への移行を実施いたしました。

併せて、HiNOSのWebサーバー及びDiscord Botシステムの監視・自動復旧を担うWatchdogについても、修正版のNode.jsを使用するよう起動構成を調整いたしております。



(3) HiNOS及びMRFG-IDに係るセキュリティ対策

HiNOS Ver.2.5.3への更新に際しましては、関連する依存ライブラリの更新に加え、以下のセキュリティ対策及び動作検証を実施いたしました。

- ・管理画面及び関連APIにおけるアクセス制御の強化
- ・設定ファイル等への不正なアクセスを防止するための制御追加
- ・管理画面及びAPIのキャッシュ制御の見直し
- ・エラー応答及びログ出力における機密情報の露出防止
- ・メンテナンスモード及び自動復旧処理の改善
- ・関連ソフトウェア及び依存ライブラリの更新
- ・関連ファイルのアクセス権限等の点検

(4) 公式Webサイトのアクセス保護の強化

弊団体公式Webサイトにおいて、Cloudflare社によるWeb Application Firewall(WAF)を活用し、今回の脆弱性に関連する既知の攻撃手法に対する防御を補強いたしました。

これらの措置により、プログラム自体の脆弱性対策に加え、外部からの不正なアクセスや認証試行に対しても、多層的な防御体制の構築を図りました。

5. 各種サービスの提供再開について

令和8年(2026年)10月22日22時40分、弊団体が実施していた一連のセキュリティチェック及び関連システムの安全性確認が完了いたしました。

これを受け、最終的な復旧準備及びサービス提供状況の確認を実施し、令和8年(2026年)10月23日0時00分をもって、今回の安全対策に伴い停止していたすべてのサービスの提供を正式に再開いたしました。

主な対象は、以下のとおりです。

- ・星浜フィナンシャルグループ公式Webサイト
- ・共通利用者ID「MRFG-ID」に係る認証及びアカウント管理機能
- ・総合ネットワーク監視基盤システム「HiNOS Nexus-Sentinel System」
- ・その他、今回の安全対策に伴い提供を停止していた関連サービス等

現在は、通常どおり各種サービスをご利用いただける状態となっております。

なお、再開後においても、サービスの稼働状況及びセキュリティ関連のログを継続的に確認し、必要に応じて追加の対策を講じてまいります。



6. サービス停止に関する通知メールの遅延配信について

今回のサービス停止に際しては、各種サービスの利用者の皆様に対し、サービス一時停止に関する通知メールの一斉配信を開始しておりました。

しかしながら、通知対象となるすべての利用者への配信が完了する前に、セキュリティ対策のためシステムを停止したことから、一部の通知メールについて配信処理が中断されておりました。

これに伴い、サービスの再開後、未配信となっていた通知メールが順次送信されている場合がございます。

そのため、一部の利用者の皆様には、サービスの提供が既に再開された後に、過去のサービス停止をお知らせするメールが届く場合がございます。

当該メールは、令和8年(2026年)10月21日23時00分に実施したサービスの一時停止についてご案内するものであり、新たなサービス停止や障害の発生を意味するものではありません。

通知メールの受信日時と実際のサービス提供状況が一致しない場合がございますが、現在の提供状況につきましては、本報の内容を優先してご確認くださいようお願い申し上げます。

利用者の皆様には、通知の遅延により混乱やご心配をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

7. 今後の安全対策及び情報提供について

弊団体では、今回の事象を踏まえ、関連ソフトウェアのセキュリティ情報の継続的な収集、適切なシステム更新及び不正アクセス対策の強化に努めてまいります。

また、今回実施した対策についても、今後の運用状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行ってまいります。

今後、新たに利用者の皆様へご案内すべき事項が生じた場合には、弊団体公式Webサイト及び公式X等を通じてお知らせいたします。

任意団体星浜フィナンシャルグループ 公式プレスリリース
(<https://mrfg.net/press>)

任意団体星浜フィナンシャルグループ 公式X
@mrfg_official (https://x.com/mrfg_official)



今回の突然のサービス停止により、利用者の皆様並びに関係団体の皆様には、多大なるご不便とご心配をおかけいたしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

弊団体では、今後も利用者の皆様の安全及び情報資産の保護を最優先に、安定したサービスの提供とセキュリティ対策の継続的な強化に努めてまいります。

引き続き、任意団体星浜フィナンシャルグループ及び弊団体が提供する各種サービスをよろしくお願い申し上げます。

[脚注]

※1 任意団体 星浜フィナンシャルグループ

「セキュリティに関する重大な脆弱性に伴う各種サービスの一時停止について(速報・第一報)」

文書番号:MRFG-PM-MF-007-01

<https://mrfg.net/press/documents/1821>

2026年10月21日公表

※2 エックスサーバー株式会社

「予防的な安全対策に伴う公式サイト・管理画面等の一時停止のお知らせ」

https://www.xserver.ne.jp/news_detail.php?view_id=19734

2026年10月22日公表

以上